

問題1 台原森林公園のホタルとメダカの里には木道が作られています。

木道を作った一番の目的はどれでしょう。

- ①人を集めるため（映える写真スポット）
- ②安全のため（みんなが歩きやすい）
- ③自然を守るため（ホタルの幼虫を踏まないように）

正解は ③自然を守るため（ホタルの幼虫を踏まないように） です

ホタルの幼虫は、水の中でえさ（カワニナ）をたくさん食べて脱皮を 6 回繰り返し、その後土に潜りサナギになります。土の中にいる幼虫を踏まないように設置されました。

問題2 台原森林公園にあるホタルとメダカの里では、ある時期ホタルが飛ぶのを見ることができます。それは、いつ頃でしょうか。

- ①6～7 月の梅雨の頃
- ②8 月のお盆の頃
- ③9 月の秋彼岸の頃

正解は ①6～7 月の梅雨の頃 です

ホタルは夏のイメージがありますが、それはヘイケボタルで、台原森林公園のゲンジボタルは 6 月下旬が見頃です。

問題3 旭ヶ丘四丁目から南に向かう仙台市科学館と仙台市青年文化センターに挟まれた広い道路の名前は、どれでしょう。

- ①森林公園通り
- ②瞑想の松通り
- ③旭ヶ丘通り

正解は ②瞑想の松通り です

旧制二高 OB の「尚志同好会」が解散を前に、通りに愛称を残す運動を進め、旭ヶ丘町内会連合会と旭ヶ丘南部連合町内会と連名で要望を提出し、2011 年(平成 23 年)3 月に決まりました。旭ヶ丘通りは、ありません。